



斎藤市長

閉庁にあたって

新津市長 斎藤富雄

移転作業でお忙しいところでありま。また、御用のため、市民の皆様も庁舎内におられることと存じますが、少し時間をお借りしまして、今日その歴史を閉じる現庁舎にまつわる思い出や雑感を話したい。閉庁のあいさつに代えてさせていただきます。

ここでの執務もあと十数分を残すのみとなりましたが、現庁舎の中でも旧館は、昭和三年の十月に竣工したと記録にあり、くしくも今年でちょうど六十年目を迎えました。この不思議な巡り合わせに感慨もひとしおですが、皆様もすでにご承知のように、この旧館は取り壊され、跡地は、駐車場となる予定であります。そこで閉庁にあたり、この旧館にまつわるエピソードなどを少しお話ししてみたいと思います。

大正時代の町役場は、現在のみのや旅館さんの隣あたりにありました。しかし、大正十四年の電気館火事により焼失し、現在地に移転して町役場が建設されたわけでありま。

けであります。この建物は、当時としては非常に近代的な建物であり、新津町では、東洋館、警察署に次いで三番目の鉄筋コンクリートの建物でした。一階が事務室、二階が議場となっていたものであります。工事施工者は、加茂の小林組でありましたが、市役所のすぐ隣に今も健在な馬場六郎さんが、この工事の現場で世話役を務められたということがあります。

旧館は、昭和初期の農村恐慌から日中戦争、さらには太平洋戦争と激動の時代の中にあつて、その役割を果たしてきたわけでありま。すが、太平洋戦争の末期には、主要官公署が爆撃目標とされたため、役場の周囲の人家が強制的に疎開させられたわけでありま。

一方、新館は、昭和三十七年、新潟市の刈谷次男氏が設計し、北本建設が建築工事と暖房、給排水工事、八重電業社が電気工事をそれぞれ担当し、翌三十八年十一月に竣工いたしました。この建物は、当時から、東京都庁を設計した丹下建三氏の作品に非常によく似ているといわれたものでありま。

み込まれているのでありま。

ところで、年々行政需要が増え続け、事務量が急激に増え始めたのも、この昭和四十年代のことでありま。日本全体が、経済の高度成長を遂げたにもかかわらず、ものすごい勢いで成長を続けた時代でありま。が、本市も目覚ましい躍進を続け、昭和五十年の五月には、希望の人口六万人を数えたのでありま。

しかし、一方では、市勢の伸展に比例して、事務量も増え続け、この庁舎だけで処理することは、非常に困難な状態となつてまいりました。そこで、県の総合庁舎跡を買収して分館としたわけでありま。昭和五十三年度のことでありま。

以来、ちょうど十年にわたつて、本町二丁目の本庁と本町四丁目の分館という二か所に分かれての執務を余儀なくされたわけでありま。これは、仕事を進める上でも極めて不便でありま。が、市民の皆様方にも、致し方ないこととはいえ、多大のご迷惑をおかけしたことを思います。内心忸怩たるものがあるわけでありま。

また、市街地中心部に存在するという好条件が加えてネットとなつて、駐車場の確保することができないという、モータリゼーションの進展が著しい時代にあつては、致命的ともいえる欠陥が次第に大きくなつてきたわけでありま。が、これらの理由から市庁舎の移転新築が、本市において大きな課題となつていたものでありま。

場を確保することができないという、モータリゼーションの進展が著しい時代にあつては、致命的ともいえる欠陥が次第に大きくなつてきたわけでありま。が、これらの理由から市庁舎の移転新築が、本市において大きな課題となつていたものでありま。

新庁舎の建設については、本市百年の大計にかかわる大事業として、市議会と一体となつて市民の皆様方から格別のご理解、ご協力を賜りながら、進めてまいりました。まさに、本市の歴史に新たな一ページを画する記念すべき大事業でありま。す。それだけに、この完成の喜びを広く皆さんとともに分かち合いたいと思つてありま。

そして、現庁舎の閉庁、新庁舎への移転にあたり、私は一度、「市役所」という言葉を再点検する必要があります。この庁舎の中でありま。つまずき、「市役所」という言葉は、市庁舎という建物と、そこで働く職員の方を合わせたものの総体にはかならずないということでありま。す。ですから、建物だけが良くなつても、決して市民の皆様さんの満足を得ることはできないと思つてありま。す。新しい器に、どんなものが盛り込まれるのか、そこが

また、市街地中心部に存在するという好条件が加えてネットとなつて、駐車場の確保することができないという、モータリゼーションの進展が著しい時代にあつては、致命的ともいえる欠陥が次第に大きくなつてきたわけでありま。が、これらの理由から市庁舎の移転新築が、本市において大きな課題となつていたものでありま。

サービスコーナー

7月25日から開設一*

このほど、市役所の跡施設(本町2)を活用していくため、一部工事に取りかかりました。跡施設は、旧館スペースを駐車場に、また、新館施設は整備して、母子健康センターや市民課サービスコーナー、事務室、会議室スペースを取り込むなど、多目的に活用を図っていくことにしています。

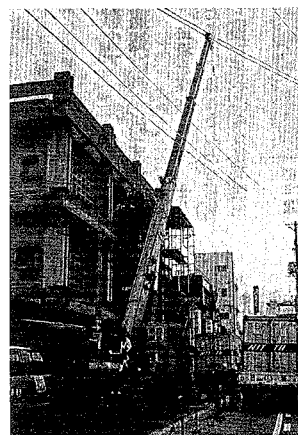
全施設の整備は、終わるまでにまだ期間を要しますが、取りあえず「市民課サービスコーナー」の開設や一部事務室の使用を、この7月25日から予定しており、工事を急ぐことにしています。

なお、サービスコーナーで取り扱う証明などのくわしいことは、次号の広報でお知らせします。

新市庁舎への移転作業

段ボール箱、机など二万三千個が移動

新庁舎への移転作業が、六月十日から十二日までの三日間で行われました。この移転作業で移動した荷物は、段ボール箱が約六千個、いす、机などが約一万七千個。職員のほか、延べ四百人以上の業者が作業にあたり、四、五台のトラックも延べ百二十台が使われました。また、十三日には、閉庁式が行われま。市長のあいさつの後、新津市農協婦人部の皆さんによる花束贈呈、そして新庁舎のテープカットが行われま。



クレーン車も登場して行われた市庁舎の移転作業

新津市庁舎 水道局舎 落成式

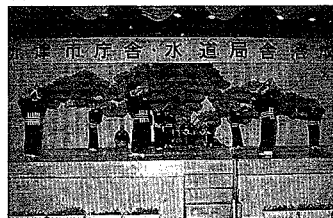
式典には700人が参加一*



式典で式辞を述べる斎藤市長



祝賀会で行われた鏡開き



祝賀会を盛り上げたアトラクション

六月二十日、市民会館で「新津市庁舎・水道局舎落成式」が行われま。式典は、市内外の招待客約七百人の参加を得て進められ、市長は、式辞の中で「新庁舎は二十一世紀を視野に入れ、O・A化、高齢化、国際化など、今後予想されるあらゆる変化に対応できるように造つたもので、まちづくりの拠点として有効に活用していきたい」と抱負を述べま。また、工事経過報告や感謝状贈呈などに引き続いて、県知事をはじめとする来賓の皆さんからお祝いのことが述べられま。

なお、式典終了後、祝賀会も行われま。が、アトラクションとして、華やかで、新津松坂が披露され、華を添えま。

お買物、ご用命は市内で

小さな恋人...さくらんぼ

おいしいさくらんぼのシーズンで、甘い佐藤錦、甘ずっぱいナボレオンおみやげにどうぞ!

フレッシュでおいしい果物の店 **やまいし**

新津市本町3 TEL 23-0397

♡手づくりのデリカ家♡

あなたの健康を応援します。ご来店下さい。

7月長崎屋教室

1日(金)	さくらんぼケーキ	10:00~12:00	800円
8日(金)	オレンジケーキ		
15日(金)	レモンパイ		
22日(金)	美肌教室	10:00~12:00	無料
29日(金)	夏休み教室 / パパアとカルピスゼリー		
	勤労青少年ホーム	10:00~12:00	500円

長崎屋1Fデリカ家 (24) 7936

積み立て「わんぱくメイト」誕生!!

保険期間は3~10年 “ごめんなさい”+“補償”の自由設計です。

あなたの安心を企画する

SIP (有) 樋口保険企画

新津市金沢町3-1~20 ☎0250(22)6774

生ビール 飲み放題 (豪華オードブル付)

男性客様お1人2,500円
女性客様お1人2,000円

ビアパーティのご予約お待ちしております。

PIA in HARUSAME

ピア・イン・ハルサメ

新津市本町1(駅前通り) ☎22-1600代